

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年7月13日時点)

➤ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設に対する攻撃を継続**している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約6万~7万人 (CSIS2月27日)

死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)

死傷者約18万人 (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: 死者最大約1万3千人 (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者8490人以上、負傷者1万4,244人以上 (OHCHR4月10日)

- ラダキン英国防参謀総長は、「昨年、露軍は1,000万発の砲弾を発射し、「戦車2,500両を損失」したとの認識を提示 (7月5日)
- 露独立系メディア及び独大学の統計学者による共同調査の結果、露軍の死者数は2023年5月下旬時点で少なくとも死者4万7,000人、重傷者を含めた露側損失は12万5,000人に上ると指摘 (7月10日)

- マクロン仏大統領は、長距離巡航ミサイル「スカルプーEG」を「ウ」に供与すると発表 (7月11日)
- ピストリウス独国防相は、ペトリオット発射機×2機、マルダー歩兵戦闘車×40両以上、レオパルト1A5戦車×25両、ベルゲパンツァー2戦車回収車×5両、砲弾×2万発を含む、7億7,000万ドル規模の新たな対「ウ」支援パッケージを発表 (7月11日)
- レズニコウ「ウ」国防相は、「ウ」パイロットに対しF-16戦闘機の操縦訓練を実施する、11か国からなる「連合」が設立されたとした上で、8月にデンマークで訓練を開始すると発表 (7月11日)

- 米戦争研究所 (ISW) は、「ウ」軍がトルスケ西部に所在する露軍部隊に砲撃を行っている映像から、露軍がトルスケクレミナ幹線道路沿いを進軍し、トルスケ東部に到達している可能性を指摘 (7月11日)

- 「ウ」軍参謀本部は、この1週間のメリトポリ及びベルジャンスク方面での攻勢の結果、「ウ」軍は1km以上前進し、「ウ」南部で10km以上の土地を解放。また、攻勢開始以来では、同正面で8.6km前進し、169km²の土地を解放したと発表 (7月10日)

- 露国防省報道官は、ワグナーから、T-90戦車、多連装ロケット砲、防空ミサイルシステム等を含む2,000点以上の装備品・兵器が露軍に移管されたとした上で、これら装備品は露軍後方拠点へ送られると発表 (7月12日)

- 露タス通信は、「ウ」軍により対地攻撃用に改修されたソ連製のS-200防空ミサイルがケルチ[クリミア近郊]に1発、ロストフに1発、ブリャンスクに2発飛来し、露軍がいずれも迎撃したと報道。「ウ」軍による同攻撃を受けて、**グラシモフ参謀総長は、「ウ」軍のS-200の保管場所及び発射位置を特定し、先制攻撃を計画するよう指示** (7月2日)

- ゼレンスキー大統領は、「ウ」軍の反転攻勢が露軍の堅固な防衛によって「減速」しているとした上で、「米国や欧州の首脳らには感謝しているが、我々はもっと早く反転攻勢を始めたかった」「我々は敵に地雷を敷設し防衛線を準備させる時間と機会を与えてしまった」と発言 (7月5日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域



国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等